

大気浮遊じんの放射能濃度測定結果

問合せ 生活環境課 ☎24-5231

ちりやほこりに付着した放射性物質の飛散状況を調べるため、市内10地点で収集した大気1m³あたりの放射性物質の濃度を測定しました。

測定地点		放射能濃度 (mBq/m ³)		
		11/15-29	11/15-29	
小高区	川房公会堂 (川房)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.056	0.110
	金房小学校 (飯崎)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.020	0.024
	塚原公会堂 (塚原)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.028	0.022
原町区	横川ダム (馬場)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.041	0.037
	原町保健センター (小川町)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.043	0.025
	高平生涯学習センター (下高平)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.025	0.024
	市立総合病院 (高見町)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.022	0.052
	大原公会堂 (大原)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.034	0.037

測定地点		放射能濃度 (mBq/m ³)		
		11/15-29	11/15-29	
鹿島区	鹿島区役所 (西町)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.033	0.038
	鹿島区3-3消防屯所 (南海老)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.017	0.031

検出限界値はおおむね0.02～0.03mBq/m³の範囲にありますが、測定サンプル毎に変動します。そのため、データの記載がない日は、放射能濃度が検出限界値未満の値であり「放射能不検出」と判定されます。

渡邊正己京都大学名誉教授
(市放射線健康対策委員会委員長)による解説

第74回目
大気浮遊じん放射能測定結果の解説
(平成29年11月15日～平成29年11月29日)

南相馬市が独自に実施している大気浮遊じん中の放射能濃度測定では、平成29年11月15日～11月29日にセシウム134の飛散は観測されず、セシウム137は、測定地点の違いに関係なく平均0.036mBq/m³と極めて低い値でした。この値は、我が国で日常的に観測される待機浮遊じんに含まれる全放射エネルギーの変動域内(0.3から0.8 mBq/m³)にあり、健康に影響を及ぼす量ではありません。